

自立した学び手 を育てるために・・・

東京都北区立袋小学校 教諭 山下 徹



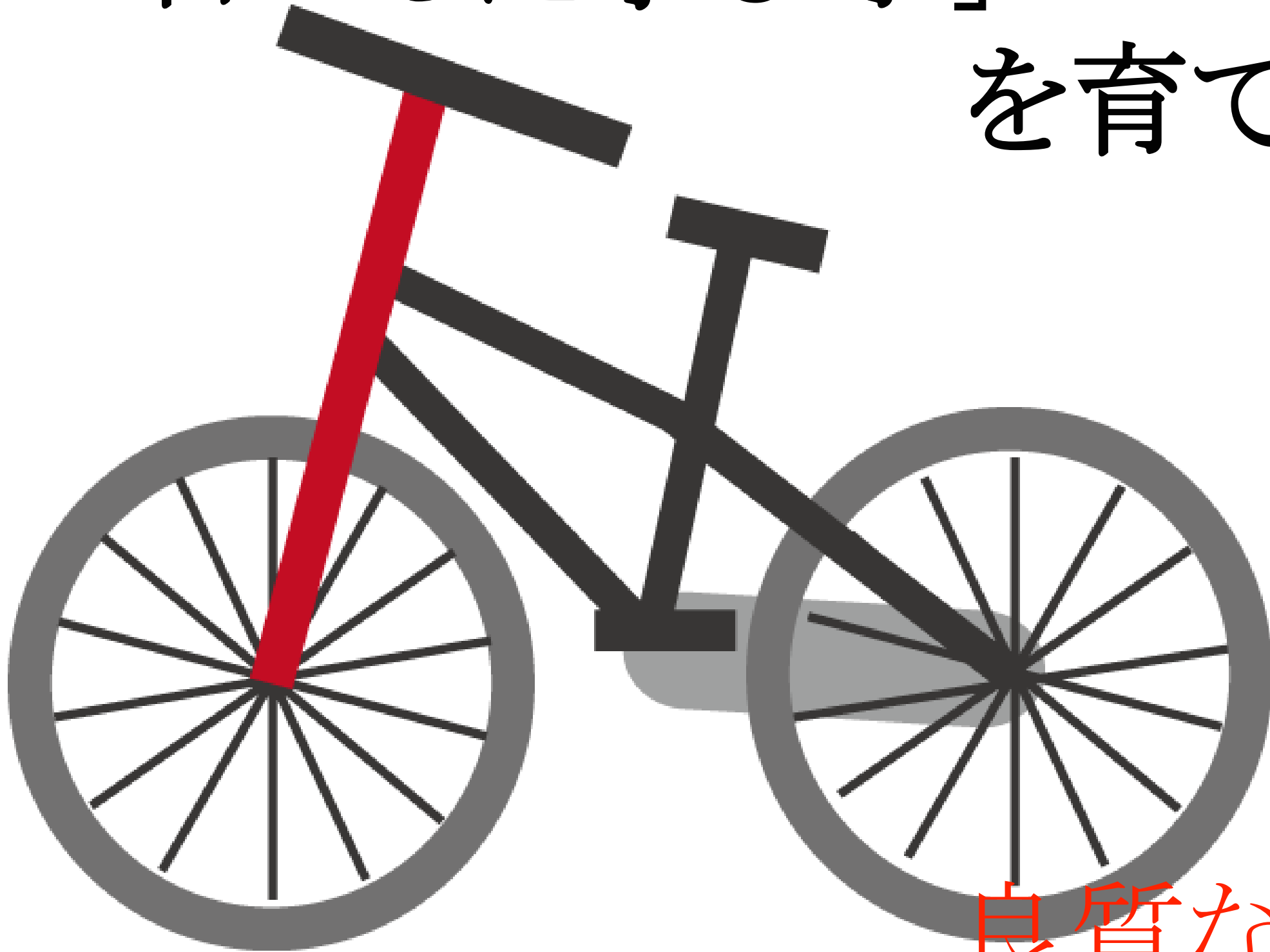
山下 徹
大阪府出身
民間企業で営業職
転職後 小学校の教諭
北区教員
教員 8年目
6年生担任



「自立した学び手」
を育てる

「自立した学び手」

を育てる



良質な経験

良質な
リフレクション

① 良質な経験

- 個別化
- 協同化
- プロジェクト化

PBLの実践で大切にしている視点

- ①教科横断的な学びになること
- ②課題に関わる概念を掴むこと(中心概念)
- ③探求のサイクル
(探求的な見方、考え方)を習得すること
(課題の設定→情報収集→整理・分析→
まとめ・表現→)
- ④積極的に社会に関わろうとする態度を育成すること

多様な価値観の大人との出会い

～真正性(オーセンシティー) 本物～



PBLの授業にご協力頂いた方々

社会起業家
パティシエ
舞台演出家
パタンナー
ワークショップデザイナー
エンジニア 等





世界へ発信 ～my hometown～

自分たちが住む街について考え、
より良いところを世界の友達に伝えよう

後期の学習



世の中から関係ないをなくす

～他人ごとから自分ごとへ～

SDGsの観点から、世界の課題を自分ごとにして自分たちでできることを考え、課題を解決する。

教科横断的な学びについて

本年度 1月18日 展覧会

本年度 外国語の研究発表 11月29日



外国語の単元の学習のゴールを
世界の子どもたちとの交流に設定



展覧会に作成した映像を展示予定

外国語 × 図工 × 国語 × 社会 × ...



6年生の国語の単元 プロフェッショナルたち
街の幸福論

コミュニティ
デザイン
人がつながるしくみをつくる
山崎亮

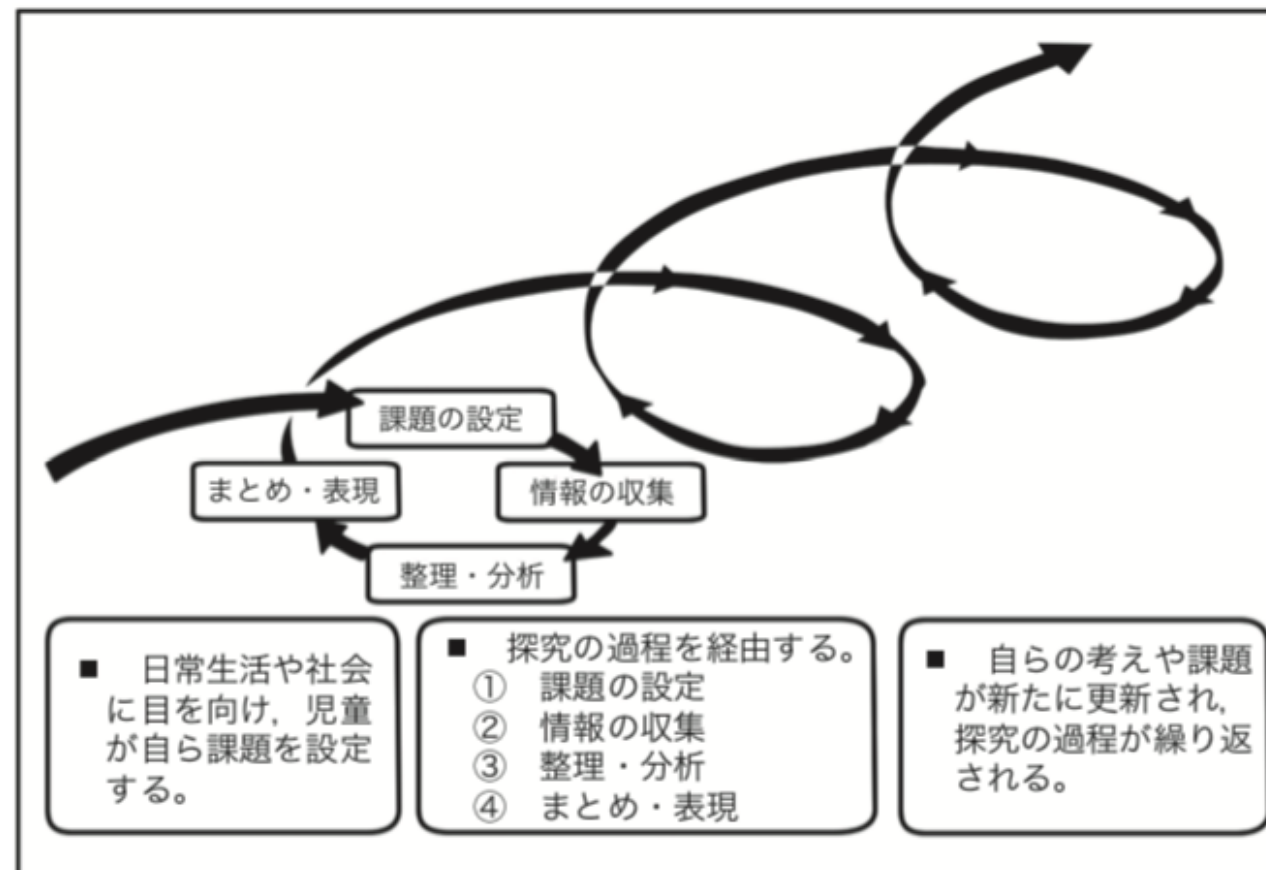


探求のサイクル

(探求的な見方、考え方)を習得することについて

(課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現→)

探究的な学習における児童の学習の姿



* 学習を通して、このサイクルをたくさん回していく

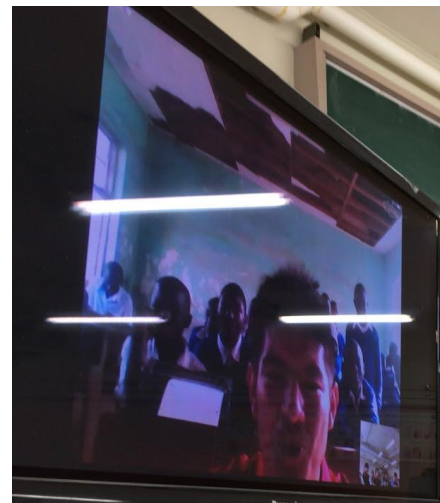
積極的に社会に関わろうとする態度を育成すること

どんなことに対しても自分ごと化できる子供たちを育成したい

1. ロールモデルとなる本物の大人と出会うこと ～多様な価値観の出会い～



2. リアルな体験



3. 社会とつながること



学習の出口を社会と繋げる



パティシエに挑戦
ケーキプロジェクト



学芸会プロジェクト



タンザニアの子どもたちに
自分たちができること

SDGsプロジェクト



② 良質なリフレクション

リフレクションに不可欠

自身を振り返ることで、この後の行動の改善につなげたいという本人の動機がある。

何よりも重要なのは、
もたれる経験の質にかかっている。

振り返りの質の向上

1. どのようにするか？
2. どうやって質を上げるか？

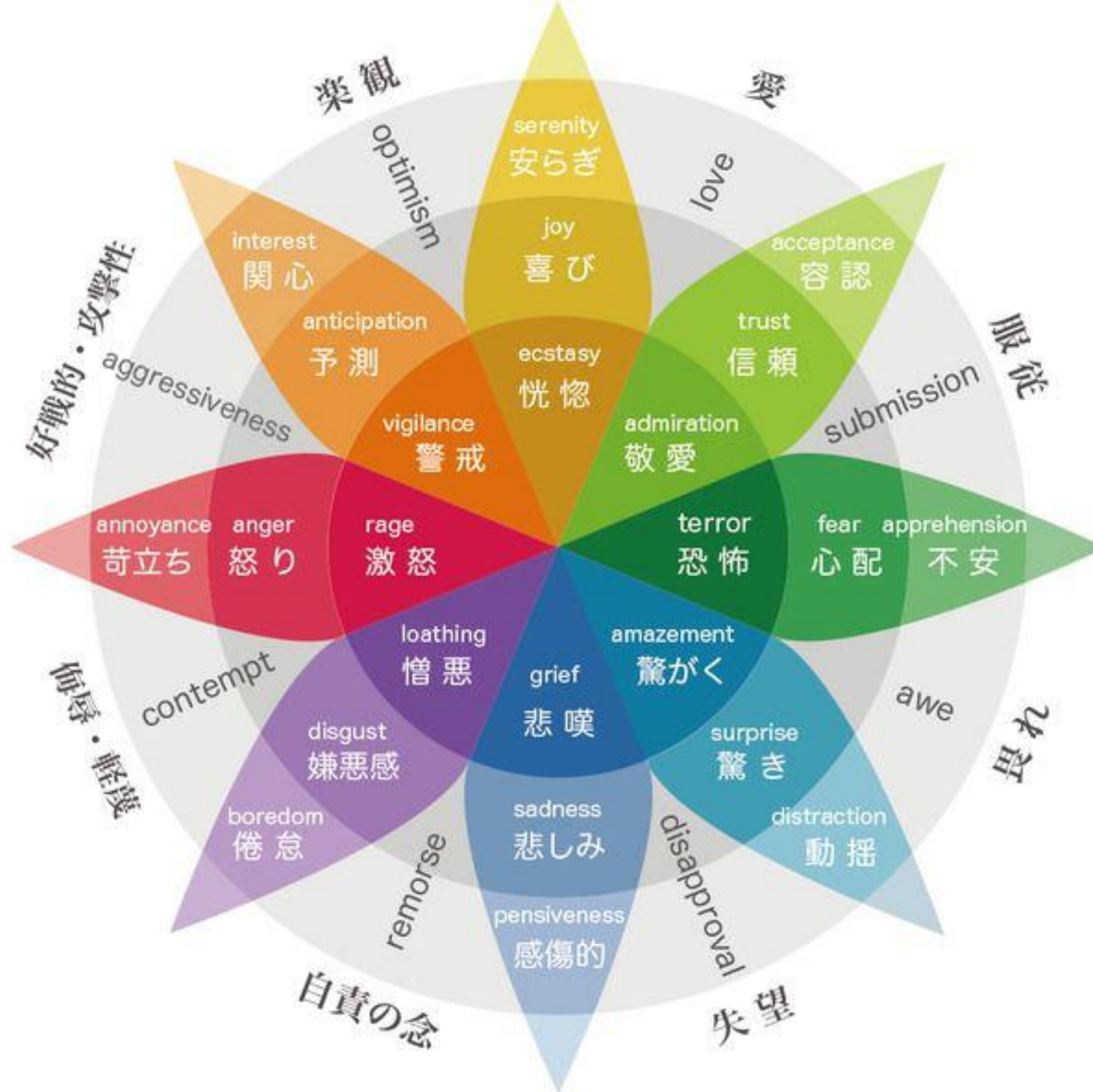
行動し、
具体的経験を得る

経験から
内省する

気づきを次の行動
に適用する

内省から
気づきを引き出す

コルブの経験学習モデル



① 感情にアクセスする

意識化

行動

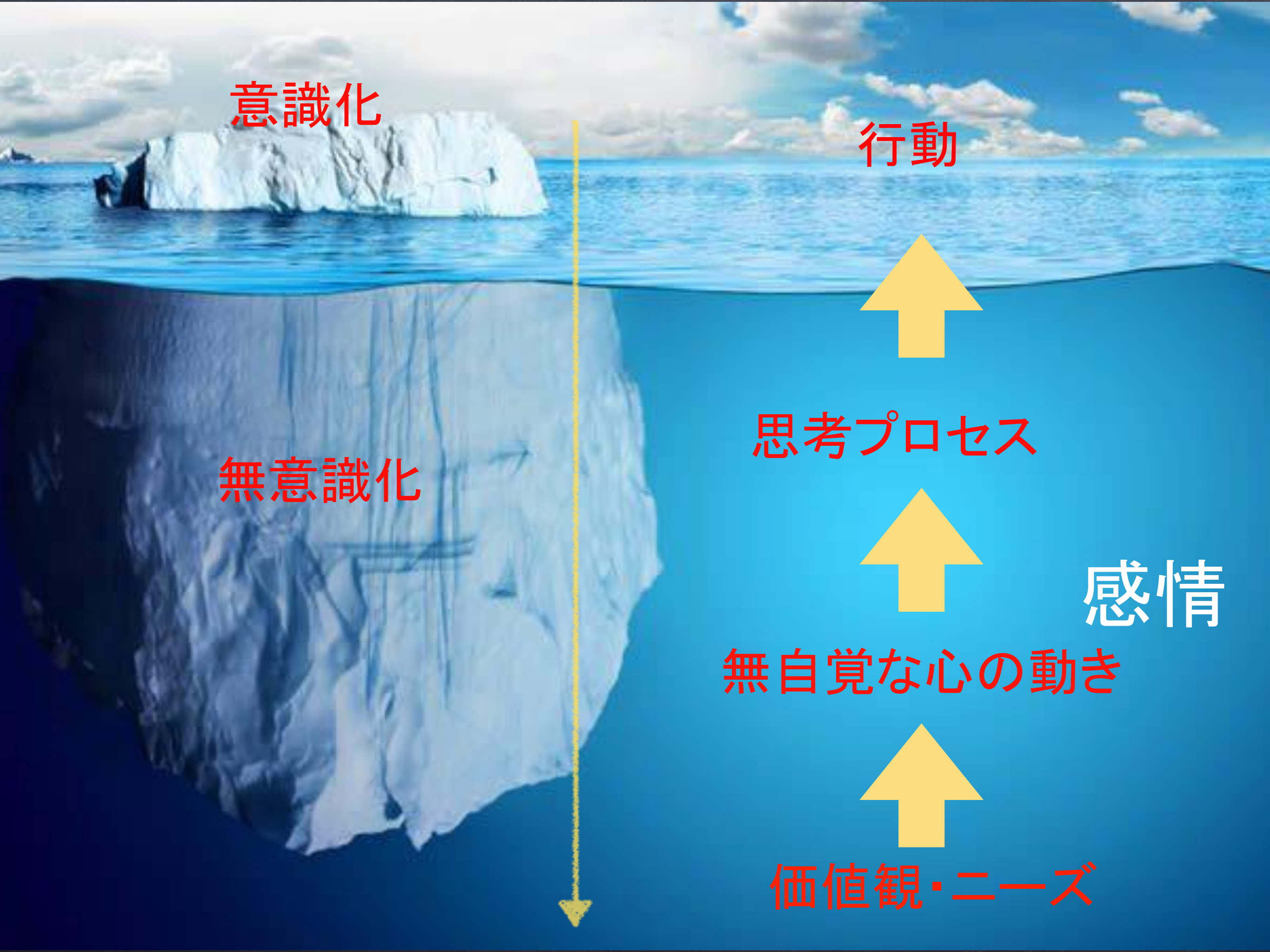
無意識化

思考プロセス

感情

無自覚な心の動き

価値観・ニーズ



内省ノート(成長ノート)

日々の体験で心が動いたこと
(最初は、ポジティブなこと)

その中の一つを選ぶ

エピソードを詳細に書く



② 問いをもつ

自己内対話の促進



2



リフレクションカード

コルブの経験学習モデル
コルトハーゲンALACTモデル
ダブルループ学習



リフレクションカード
協同的な振り返り

問いを覚える
自己内対話の質が上がる。

思考の拡張
ジョハリの窓

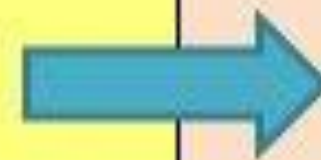
自分

知ってる

知らない

知ってる

(1)

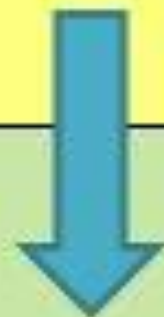


(2)

他人

知らない

(3)



(4)

ジョハリの窓

リフレクションの深さ

MOONによる4レベル

1.描写的に描く

振り返りをしていない。描写にとどまる

2.描写的な振り返り

振り返る出来事における自分の感情や思考をそのまま書く。

3.対話的な振り返り

振り返る出来事における自分の役割を明らかにし、疑問を提示したり、分析したり、
他の出来事を関連付けたりする。

4.クリティカルな振り返り

振り返る出来事を、多角的な視点で分析する。

今回のリフレクションは、ループをしてしまった時
もあったが、また戻して深めていくことができた。
なぜなら、「なぜ」「なぜ」と探求していたことも
だが、つながっている質問をできたからだと思う。
そして、主人公が話してくれたことについて

僕は、学年の人だけでなく、低学年の人ともコミュ
ニケーションをとれていない。なぜなら、自分が積極
的に話しかけて仲を良くしていないからだと思
った。だから僕は、そのために、自分がいつも話
している人ともう一度話して、スラスラと話せるよ
うなコミュニケーション能力をつけることと、話すた
めには、「Cゾーン」を抜け出すことが必要にな
る。「Cゾーン」を抜け出すには、勇気が大切であ
る。勇気をつけるには、最初は小さなことでも
良いので、一回話してみることで、どんど
ん勇気がついていくと思う。

ループしてしまった時、ま
た戻して深めていくことが
できた。
なぜなら、「なぜ」、「なぜ」
と探求したり、つながってい
る質問ができたから・・・

コミュニケーション能力をつけるこ
とと、話すためには、Cゾーンを
ぬけだすこと
Cゾーンを抜け出すには、勇気が
必要・・・

対話的な振り返り
疑問や分析を試み、他の出来事と関連づけている。

〈感想〉

今回は、こうふかめられたと思います。

(ほとんど「私」がしっもんしていましたが。)

今回から毎回するしっもんを「私」が作りました。

① 写真⇔現実のしっもん

写真の中を現実にしたとするしっもんです。

たとえば火田に芽がでた。という場面では

土は何? → 友だち 土よは? → 先生

などと写真の中にあるものを現実化する

しっもんです。今回使ってみただけでかけっこう考

える時間が長かった! ←ふかく考へるとい

こふかめられたしっもん → ことですよ ね!!

② SDG 2式

もんだいのかいけつをみつけるしっもんです。

りそう → 現実 → その差 → どうすればいい?

↑これをかけっこう考へてくれました。

以上のしっもんをこれからもうかあ

思いました。

SDGs 式

問題の解決をみつける質問

理想 → 現実 → その差 →

どうすればいい?

これがかけっこう考えてくれた。

クリティカルな振り返り
多角的な視点で分析

LV0 事実の描写

LV1 体験の描写、出来た、出来ないに囚われる

LV2 体験に加え、その理由を描写している

LV3 体験に加え、そこから生まれる気づきを描写している

LV4 体験に加え、

気づきをもとにして状況を変化させようとしている

LV5 その先は・・・